

ことば探検・ことば発見

国立国語研究所

ことば探検・ことば発見

国立国語研究所

□ 企 画・制 作

国 立 国 語 研 究 所

映像作品作成委員会

相 澤 正 夫	国立国語研究所・言語体系研究部長
加 藤 昌 男	NH K放送研修センター 日本語センター・エグゼクティブ・アナウンサー
興 水 かおり	東京都港区教育委員会指導室・指導主事
小 森 茂	文部科学省初等中等教育局教育課程課・教科調査官
品 田 雄 吉	映画評論家・多摩美術大学名誉教授
杉 戸 清 樹	国立国語研究所・言語行動研究部長
中 山 典 子	国立国語研究所・言語変化研究部研究員
山 田 敦 子	東京都板橋区立上板橋第二小学校・教頭
吉 岡 泰 夫 (委員長)	国立国語研究所・言語変化研究部長

(五十音順)

□ 製 作

毎 日 映 画 社

制 作	春 本 幸 洋
プロデューサー	橋 本 淳
脚 本	高 原 貞 夫
監 督	原 田 雅 信
	実践編・素材編①担当 大 石 誠 素材編②③④担当
撮 影	小 金 沢 輝 明
照 明	相 田 隆 久
	祐 村 徹 夫
録 音	中 村 裕 司
	小 出 正 一

メ イ ク	松 本 美奈子
車 輦	若 林 艶 一
俳優 マネージメント	須 釜 重 美 (希楽星)
選 曲	メディアハウス
演出助手	大 内 史 子
	古 谷 吉 功
撮影助手	中 野 高 良
編集スタジオ	テレトップ
MAスタジオ	テレトップ

もくじ

ことば探検・ことば発見【実践編】

気象科学館で調べよう	5
1 きっかけ	7
2 話し合い	9
3 調べるA・気象科学館	11
4 調べるB・お爺さんの話	20
5 報告・発表・話し合い	22
6 素材編へのジョイント	24

ことば探検・ことば発見【素材編】

あんな日本語・こんな日本語	25
① 思いやりのある日本語	27
② 元気のいい日本語	32
③ 表情豊かな日本語	39
④ 想像がふくらむ日本語	46

ことば探検・ことば発見【実践編】（VTR・約22分30秒）

気象科学館で調べよう

【実践編】

出 演 日本気象協会 気象予報士 高田 斉

配 役

役名	性別	年齢	職種・他	俳 優
亮一	男		小学6年生	佐川 寿光
翔吾	男		小学6年生	田淵 諒
誠	男		小学6年生	吉田 真央
綾音	女		小学6年生	肥田 真寿美
香帆	女		小学6年生	大桃 文音
遼一の父	男			神崎 智孝
遼一の母	女			上原 由恵
遼一の祖父	男			庄司 永建
W男	男		小学6年生	山田 晃裕
X男	男		小学6年生	矢嶋 勝貴
Y子	女		小学6年生	石川 有沙
男生徒1	男		小学6年生	荒 和也
男生徒2	男		小学6年生	甲田 研人
女生徒1	女		小学6年生	嶋村 瞳
女生徒2	女		小学6年生	鶴岡 咲枝
女生徒3	女		小学6年生	常泉 遙佳
担任教師	男			有村 圭助
お天気キャスター				菊原 祐太郎

他エキストラ女生徒4

1 きっかけ

1 朝・遼一の家

テレビが天気予報を流しているが、朝食に夢中の遼一。

父 「ほら、のんびり食べてたら、遅刻しちゃうぞ！」

遼一 「うん・・・(何気なくTVに目をやる)」

テレビ「・・・ところにより一時雨になるでしょう・・・」

遼一 「一時に雨」

テレビ画面が、週間予報にかわっている。

父 「なんだ、土曜日は雨か・・・」

母 「またテニスできないわね」

父 「先週もダメだったからな」

母 「あれはひどかったわね」

父 「バケツの水をひっくり返したような降り方だもんな」

母 「(腕を振って) わたし、腕がなまっちゃうわ」

元気よく自宅の玄関を出る遼一(小学校高学年)。

遼一 「行ってきます！」

母 「(奥から声のみ) 雨の予報よ、傘を持ってらっしゃい！」

母親の声にも頓着なく、遼一は登校する。

2 タイトル【気象科学館で調べよう】

3 学校の教室

午後の授業、窓が雨に濡れている。

先生 「雨か・・・」

遼一、外に目をやる。

4 校舎の出口

下校の生徒が群れている。

庇の下で当惑げの遼一に、同級の翔吾らが声をかける。

翔吾 「傘持ってこなかったの？」

綾音 「天気予報で、一時雨って言ってたじゃない」

遼一 「うん・・・午後一時に雨だろう」

綾音 「一時って、そんな意味じゃないわよ」

一同笑う。

香帆 「たしか『所により一時雨』。そう言ってたわ」

誠 「『所により』ってどこなのか、よく分からないよ な」

遼一 「天気予報の言葉って、分かるようで分からないのがあるね」

綾音 「天気予報の言葉ねえ・・・（遼一と視線が合う。手を打って）そうだ！ねえ、こんどの総合的な学習で天気予報の言葉を調べてみない！」

遼一 「ほくもいま、そう思ったんだ!」

翔吾 「うん、雨だって土砂降りだったり、いろいろあるものね」

「やってみよう」「面白そう」などとみんな頷く。

香帆 「(綾音に) 帰ろう。」

綾音 「遼一君、傘に入れてあげようか?」

誠、冷やかすような眼差し。

綾音 「(誠を無視して遼一に) 行こう。」

遼一と綾音が相合い傘で、小走りに去ってゆく。

2 話し合い

5 別の日・放課後の校庭

サッカーなど、生徒が遊んでいる。

6 同・教室

遼一、翔吾、綾音、誠、香帆が話し合っている。

綾音 「まとめてみるね・・・テーマとしては、天気予報の用語や気象についての表現を調べるということね」

遼一 「そうそう、そう言うこと。だけどどうやってべる?」

翔吾 「家で聞くとか、図書館で調べるとか」

綾音 「お天気相談所なんかで調べてみれば、分かるんじゃない？」

香帆 「わたし夏休みに行ったことある」

翔吾 「そうだ！インターネットで、気象庁のホームページを探してみようか」

香帆 「やってみよう！」

7 学校のパソコン室

生徒らがホームページを開き、みんなのぞきこむ。

以下、ホームページの画面もみせながら（以下同）・・・

翔吾 「あっ、天気予報の用語解説が載ってる」

綾音 「『朝のうち』は『日の出からおよそ9時頃まで』」

香帆 「単なる『朝』というときは・・・『夜明けからおよそ9時頃まで』」

誠 「『朝』という言葉でも、いろいろな使い方をしてるんだ」

8 再び学校のパソコン室

翔吾 「面白くなってきたぞ、気象庁に行って聞いてみたら、もっといろいろ分かるね」

香帆 「意外な発見があるかもしれないね」

綾音 「その前に、みんなで、調べたいお天気の言葉を書きだしてみようよ。あれもこれもじゃ、まとまりがつかなくなるじゃない」

翔吾 「例えば、今回は雨についてとか」

遼一 「賛成！この話も傘を忘れたところから始まったんだものな」

綾音 「まず、調べたい事柄や聞きたい言葉を整理してみようよ」

誠 「それと、お願いの電話もしなくてはね」

9 職員室

メモを片手に、気象庁に電話する綾音。

綾音 「はじめまして、希望ヶ丘小学校6年1組の坂村綾音といます。こんど総合的な学習の時間で、お天気の言葉を調べたいと思っています。それで、気象庁にうかがって、おたずねしたいことがあります。私たち五人で、質問にうかがっていいでしょうか？」

気象庁の案内(声のみ) 「はい、どうぞおいでください。気象の言葉を調べるなら、気象科学館もございます。そちらもいいですよ」

綾音 「気象科学館ですか、それはどこにありますか？」

気象庁の案内(声のみ) 「気象庁の一階です。気象庁の場所をご存じですか？」

綾音 「はい、ホームページで調べました。それで、来週の金曜日の午後二時頃にうかがいたいと思いますが、いいでしょうか？」

気象庁の案内(声のみ) 「十五日の金曜日、午後二時頃ですね。正面玄関に入って右手の気象科学館においでください、お待ちしております」

綾音 「ありがとうございます、それでは、どうぞよろしくお願いします」

3 調べるA・気象科学館

10 気象庁

庁舎の玄関に向かう遼一ら5人の小学生。

11 気象科学館内

種々のパネルが並び、検索用のパソコンが置かれた気象科学館

内。ときにそれらを生かしながら、気象協会の高田斉氏が、小学生らに説明してゆく。

綾音 「・・・それできょうは、雨についての表現や言葉を、主に教えていただきました
いんです。例えば『一時雨』とか、『所により雨』とか・・・」

香帆 「それから、天気予報で雨の強さをいうのに、どんな言葉を使っているのかも
知りたいのですが」

高田 「はい、よく聞かれることなんですよ。これが天気予報を利用する基本で
すものね。まず、天気予報で使っている言葉はこういう場合にはこう言う
と決まっているんです」

綾音 「『所により』もそうですか？」

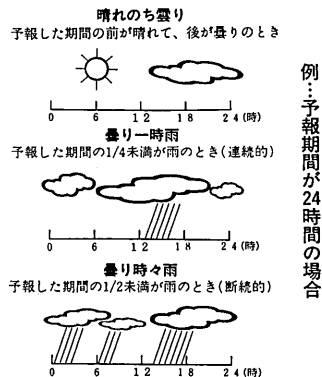
高田 「はい、そうなんです。雨のある広い地方全体に降るのではなく、雨雲の通
り道に当たった限られた何カ所かに降る時の表現なんです。しかも、その地
域がどこかというのを、現代の科学でははっきりと言えない時に『所により』
という言葉を使います」

遼一 「ぼくは『一時雨』と聞いたので、大丈夫と思って傘を持って行かなかった
んです」

高田 「濡れてしまいましたか？でも、『一時雨』というのは、何時 から何時まで
という時刻のことではありません。どれ位降るかという事なんですよ。『一
時雨』のほかに、似たような言葉で、『時々』というのがあります。これ
は・・・」

12 イラスト(挿入画面)・CG

解説の背後に、下記のような図が現れる（実行段階ではCGで描く）。



高田 「(声のみ)・・・『一時雨』の一時とは、雨なら雨が連続して降るけど、丸一日ではなくて、例えば24時間の予報ならそのうちの4分の1、つまり6時間未満のあいだで降り続きますよという表現です。そして『時々』というのは連続してではなく、途切れとぎれ、断続的に降りますよということで、雨の合計時間が一日の半分未満のときに使う表現です。いずれも時間経過という表現で、この場合、雨の強さを言ってるものではありません」

高田 「(雨量計の前へ移動しながら) みなさんこちらに来て下さい」

13 気象科学館内(S14に戻る)

特には記さないが、以下の説明のところどころに、雨の状況を示す映像を短く挿入して、画面変化と理解を助けるようにする。

高田 「(雨量計をみせて) これ、何だか知っていますか？」

遼一 「理科の実験道具みたいだけど・・・」

高田 「当たらずといえども、遠からず・・・雨量計。降った雨の量を量る機械です。『小雨』というと、地面もほとんど濡れないか、かすかに湿る程度。傘なしでもレインコートで間に合う程度です。数時間降りつづいても、雨量は1ミリにも

達しません。しかし、東京都内全体に降った1ミリの雨を集めると、東京ドームのおよそ10杯分にもなるんですよ」

生徒ら 「(一斉に驚く) へー、凄いつ！」

高田 「凄い量ですね。『一時小雨』なら、君(遼一君)も傘を忘れても大して濡れずにすみませんでしたね」

遼一 「(頷いて頭を掻きながらニッコリする)」

高田 「次が、3～8ミリの未満の雨量で、地面に水たまりができるくらいの降り方です」

翔吾 「その程度の降り方の雨は何と言うんですか」

高田 「それは『弱い雨』という事になります。でも予報では使っていません。天気予報では曖昧な表現は、使わなくなっています。ですから、いまの質問はただ『雨』という予報になります」

香帆 「へー、はっきり使い分けているんですね」

高田 「その通りです。いまの予報というのはコンピュータも大活躍しています。例えば、降水確率何%という天気予報を見たり聞いたりしたことがあるでしょう？ 数値予報と言いますが、そういうのもコンピュータを使って予想したり、計算したりしているんですね」

誠 「土砂降りも、ただの『雨』なんですか？」

高田 「いいところに気づきましたね。土砂降りというのは非常に怖い降り方です。『強い雨』という言い方があります。地面いっぱい水が溜まって、雨音で人の話し声が聞き取りにくくなったりしますね。さらに『激しい雨』という表現になると、傘が役に立たなくなったり、溝から水が溢れだしたりする現象が出はじめます」

綾音 「『大雨注意報』が出たと、たまに聞くことがありますが、これはどんな雨なんですか？」

高田 「はい、『激しい雨』というのでも、所によっては『大雨注意報』がでます。これは地域によって雨量の基準が決めてあり、それを超えると注意報やその上の警報を出す仕組みになっています。この時の『大雨』というのも予報用

語です。たとえば東京23区内で言うと、1時間に30^ミを超えると注意報、50^ミ以上になると警報が出ます」

地面を叩きつけるような雨（資料映像）を挿入

高田 「警報になると辺り一面が白っぽく見えます。災害の発生につながる恐れが出てくる状態なんですね」

遼一 「うちの母がテニスをやろうと思っていた日に、『バケツのような雨』で行けなくなっちゃって……」

誠 「バケツが降るわけないだろう、『バケツの水をひっくりかえたような』激しい雨ということだよ」

クラスメートたちが一斉に笑う。

高田 「雨の降り方で最も強いのが強いのが『猛烈な雨』です。これにも上手い表現があります。『滝のように降る』って聞いたことはありませんか？」

誠 「あっ、祖母が言っていたのを、聞いたことがあります。滝のように雨が降って、前が見えなくなったそうです。きっと50^ミ以上の雨だったんだ」

高田 「多分、そうでしょうね。雨の強さに関する主な予報用語は、そんなところでしょう」

翔吾 「『集中豪雨』というのは、どういう雨ですか？」

高田 「『大雨注意報』が出るくらいの雨は、もう『豪雨』と呼んでいいでしょう。その雨が限られた狭い地域に、短時間に多量に降るのが『集中豪雨』です」

濁流の河川（資料映像）を挿入

綾音 「予報以外でも使われる雨についての表現を、教えていただきたいのです。例えば『にわか雨』と『夕立』とは、同じなんですか？」

高田 「急に降りだして、比較的短時間で上がる点では、『にわか雨』も『夕立』も似ていますね。ただ『夕立』は、夏の午後ににわか雨のことです。雷が一緒に鳴ることが多く、そうすると『雷雨』という呼び方もありますね」

何事かを思いだ出した表情の遼一

14 遼一の家・ベランダ(冬・回想画面)

洗濯物が干してある。にわか雨が来る。

居間でゲームをしていた遼一がそれに気づき、台所の母親に声をかける。

遼一 「母さん、夕立だよ!」

料理をしていた母親、振り向きもせず―

遼一 「何言ってるの、冬に夕立来るわけないでしょう…(言い終わって、後ろを振り向いた母親) あらいやだ!」

雨に気づき、慌てて飛び出していく母親。

洗濯物を取り込みながら…。

母親 「にわか雨なんて、予報じゃ言ってなかったのに」

遼一 「だから夕立だって…」

母親 「冬は夕立って言わないの!」

15 気象科学館に戻る

高田 「夏のにわか雨、夕立には『夕立は馬の背を分ける』という言い方がありません。夕立はおもに積乱雲、みんなが入道雲と呼んでいる 雲が降らせる雨なので、その雲のあるところしか降りません」

16 夕立のスケッチ (挿入画面)

ビル街に稲妻が走る (資料映像)

17 気象科学館に戻る

高田 「ですから降るところと降らないところがくっきり分かれるんです。それを馬の背中の片側は濡れても、片側は濡れていない、面白く譬えた表現です」

香帆 「『通り雨』というの、にわか雨みたいなものですか？」

高田 「そうですね、ひとしきり降らせながら通り過ぎてゆく雨ですね。ちょっと洒落た表現ですね」

18 雨の野球場 (挿入画面)

試合中断風景の模様を短く挿入

翔吾 「よく野球なんかで一時試合を中断して、雨雲が通り過ぎるのを待っているのもそうなんだ」

19 気象科学館に戻る

高田 「日本列島にはご承知のように、春夏秋冬の四季があります」

20 四季のスケッチ (挿入画面)

【春】菜の花畑や桜の開花、【梅雨時】雨

【夏】ひまわり

【秋】紅葉、薄野

【冬】雪国風景

この挿入画面は、印象的にきれいな音楽でみせる。

21 気象科学館に戻る

高田 「みなさんがいま調べている『雨』の表現も、季節や降り方でいろいろな表現があります。例えば、静かにしとしとと降る『春雨』、これが長く続くことがあると『春の長雨』とか、菜の花の 時季なので『菜種梅雨』などと言います。『雨は花の父母』という言葉があるくらいで、この雨が 桜など春の花を一斉に咲かせます。そして『梅雨』の季節がありますね。日本列島の本州の場合は6月中旬頃に『梅雨入り』があつて、7月中旬頃までじめじめと降り続きます。この雨、『五月雨』と書いて『さみだれ』とも呼んでいます。昔使っていた暦(こよみ)だと、この時季は5月だったんですね。夏の『雷雨』、そして『秋雨』『時雨』・・・どうですか雨の表現ひとつにも、日本の四季とその豊かな自然が反映しているんですね。雨だけではありませんね。『春一番』は風、『小春日和』は陽気、『木枯らし』は風、『風花』は雪です」

綾音 「つまり、日本の自然と結びついた言葉ですね」

高田 「その通りです。みなさんのご両親やお爺さん、お婆さんに伺ってみれば、まだまだ出てくるはずですよ」

22 飛行機雲 (挿入画面)

飛行機が長く白い航跡を曳いてゆく。飛行機雲である。

高田 「(声のみ) 飛行機雲はみんな知っていますね。長い飛行機雲がいつまでも消えずに残っていると、天気が崩れる兆しです」

23 気象科学館に戻る

高田 「科学的に言うと、上空の 大気が乾燥していればすぐ消えるけど、いつまでも残っているのは大気が湿りはじめているからなのです」

遼一 「へー」

綾音 「(眩くように) それは知りませんでした。ちゃんと 科学的な根拠があるんですね」

気象庁のホームページでアドレスなどをみせて・・・

高田 「気象に関する言葉、面白いでしょう？あなたがたは東京ですが、それ以外の地方の人は気象庁のホームページや、各地方気象台を訪ねて、いろいろ調べることができますからね。ほら、ここに各県の地方気象台紹介がありますよこれから、色々調べてみて下さいね・・・」

生徒一同 「はい！(丁寧にお辞儀して) どうもありがとうございました」

高田 「どういたしまして、また来てください」

24 街の中

一同、歩きながら口々に「面白いね」「もっと調べて見ようよ」など、楽しそう。

綾音 「そうだ、発表会には図や表をつけたほうがいいわね」

翔吾 「香帆ちゃん、字がきれいだから、表を作ってく れない」

遼一 「絵なら、ほく描けるよ」

綾音 「先生に褒められたことあったものね」

照れる遼一。

4 調べるB・お爺さんの話

25 遼一の家(夕方)

田舎の祖父と、電話をしている遼一。

遼一 「へー・・・それを『キツネの嫁入り』というの？」

祖父 「(声のみ) うん、お日さまが照っているのに雨が降っている『お天気雨』のことを、キツネの嫁入りというんだ」

遼一 「(声のみ) それで、お爺ちゃんは、キツネの嫁入りを見たことあるの？」

26 遼一の祖父の家(夕方)

祖父 「あるともさ・・・天気雨のなかを、真っ白な角隠しをした白キツネの花嫁行列がな、音もなく行きおった・・・」

27 アニメーション(遼一の想像場面)

花嫁姿のキツネと婚礼の行列が、日が照って雨が降っている野を、静かに進んでゆく情景。

28 遼一の祖父の家(夕方)

祖父 「それとも、あれはキツネにかされておったんだろうかなあ」

29 遼一の家・居間(夜)

父母と遼一。食事の後。

母が台所の電灯を消しながらやって来る。

母 「それはね、お爺ちゃんが遼一をちょっとからかったのよ。キツネの嫁入りなんて、見た人はいないわよ」

遼一 「そうだろうと思った、キツネに化かされるなんて、あるわけない。それから、お爺ちゃん『腰が痛むから雨が降るかも知れない』って言ってたけど、そんなことあるの？」

父 「天気や季節の変わり目を、お年寄りや病人は敏感に感じるんだね」

遼一 「こんなことも教えてくれたよ・・・ええと…『夏海秋山』と言って、夏は海から、秋は山から天気が変わるんだって」

父 「諺だね。『朝雨にはミノ要らず』なんていうのもあるな」

遼一 「ミノって？」

父 「昔の雨具 | レインコートだよ。カヤヤスゲを編んで作ったんだ」

広重の絵(東海道五十三次のうち『庄野』等、蓑が出ている画)を短くを挿入する。

母 「『朝焼けは雨、夕焼けは晴れ』という諺もあるわ」

父 「『雪の明日は裸の洗濯』と言って、雪の翌日は暖かくて天気が良いという地方もあるね」

遼一 「この辺りでも、雪が降った次の日は晴れる日が多いよね。ボカボカして、僕たちも雪合戦をよくやるよ」

母 「そうそう、洋服よく汚してくれるわよね」

首をすくめる遼一。

母 「おかげで『雪の明日は洗濯ばかり』」吹き出す父親と遼一。

父 「諺は地方によっていろいろで、その地域の気象に結びついたものが多いんだよ」

遼一 「随分数も多いみたいだけど…」

父 「お爺ちゃんちみたいな農家や魚を捕る漁師さんは、天気の良い悪いがそのまま収穫に影響するからね。気象にはすごく敏感で、諺も多いんじゃないかな」

母 「そういうものを調べても、おもしろいんじゃない」

遼一 「うん…。ところで、お父さんたち、どの位の雨ならテニスやるの？」

父 「『小雨』や『霧雨』くらいならならやるね」

遼一 「『霧雨』？」

母 「うんと粒の細かい雨のことよ」

5 報告・発表・話し合い

30 学校の教室

黒板に、調べた内容を図や表にしたもの（例・雨の強さ・季節の雨の表現・若干の諺など）が貼られている。

綾音の司会で、言葉調べの経過を報告している。

綾音 「・・・それで気象庁の気象科学館で、気象協会の高田さんから、お話をうかがいました。今回は『雨』にかかわる言葉を中心に、前もって私たちが用意した知りたいことや、それ以外にも私たちが知らない用語や表現をたくさん教えていただきました。また、両親などからも聞きました。発表はまず天気予報の『雨の用語』、続いて『いろいろな雨の表現』の順でおこないます。

ワイプで場面を省略し、次へ・・・

遼一 「・・・よく何^ミの雨、例えば『50^ミの雨が降る』などとという言い方をします。しかし、数字だけではわかりにくいところがあります。そこを、例をあげてで説明していただき、実感として分かるようになりました。それがこの表です・・・」

香帆 「季節の違い、降り方の違いで雨にはたくさんの表現があることが分かりました。」

翔吾 「祖父や祖母、親戚の人たちに聞いて調べたら、同じように降る雨でも地方によって呼び方が違っていました。」

誠 「僕たちは諺に付いても調べました。例えば『朝雨にミノ要らず』といっ
て・・・」

綾音 「以上が私たちのグループが調べた内容です。それでは質問や感想を合わせてをどうぞ。」

手を挙げ、次々に発言・・・

綾音の声 「ハイ、渡辺君」

W男 「いままで雨の呼び方や表現など、あまり考えたことなかったけれど、そうして表になったのを見ると、なんて沢山の表現があるのかと驚きました。調べてみて、特に感じたことがありますか？」

綾音 「気象協会の高田さんもおっしゃっていましたが、雨の表現ひとつにも、日本の四季や豊かな自然が反映しているというのを感じました。これから、ただ『雨か』ではなく、見る目が変わると思います」

遼一 「みんなが気がついた雨の言葉があったら、これから教えてください。どんどん表を増やしてゆきます」

X男 「同じ『雨』という字を書いても、『通り雨』のようにアメと読むもの、『小雨・春雨』のようにサメと読むもの、『豪雨』のようにウなど、読み方の面白さに

も気がつきました」

Y子 「気象についてなら、まだ『風』や『雲』、『雪』 などもあります。みんなで調べたら、もっといろいろな言葉の面白さがわかるんじゃないかしら」

「賛成」「やろう」などの声。

6 素材編へのジョイント

31 学校の教室

女生徒1 「ねえ、雨以外のお天気の諺を調べてみない」

男生徒1 「霧と霏とガスとどう違うんだろう？」

女生徒2 「暑さや寒さを表現する言葉も面白そうね」

男生徒2 「季節・海や山・動物や植物など、自然を表現する言葉はどうだろう」

女生徒3 「そういう言葉が出てくる詩や物語も探してみない？」

綾音 「つまり、ことば探検！」

誠 「そして、ことば発見だね」

香帆 「あんな日本語！」

翔吾 「こんな日本語！」

遼一 「みんなで調べて見ようよ！」

ことば探検・ことば発見【素材編】（VTR・約24分）

あんな日本語・こんな日本語

- ① 思いやりのある日本語（約4分30秒）
- ② 元気のいい日本語（約8分）
- ③ 表情豊かな日本語（約8分30秒）
- ④ 想像がふくらむ日本語（3分）

【素材編】

声 の 出 演

案内役のキャラクター

一龍斎 貞友

① 思いやりのある日本語

配役

役名	性別	年齢	職種・他	俳優
康文	男		小学6年生	前原 一貴
実	男		小学6年生	中野 史祥
俊成	男		小学6年生	田谷 隼
佳織	女		小学6年生	山田 ひろみ
祐理恵	女		小学6年生	遠藤 理菜
智絵	女		小学6年生	深沢 祐依
男生徒3	男		小学6年生	近藤 憂
男生徒4	男		小学6年生	鳴島 泰輔
男生徒5	男		小学6年生	大野 翔平
女生徒4	女		小学6年生	飯塚 安津咲
看護婦	女			下村 恵里

③ 表情豊かな日本語

出演

入船亭扇治

一龍斎 貞友

④ 想像がふくらむ日本語

詩朗読

素材① 思いやりのある日本語

1 プロローグ

1 サッカーボール

サッカーボールが勢いよく蹴られる。

宙を切るボールの背後で、大きな声。

声 「痛ッ、痛いー！」

2 キャラクター（以下、キャラと略す）登場

ロボットのキャラが、包帯の足を引きずって登場。

キャラ「うーん、まだ痛い・・・実はサッカーで怪我をしてしまって、ロボット修理工場に行って来たんだ。ほくが痛い痛い悲鳴をあげたら、メカニックさん何て言ったと思う？ 『自分のキックの技術が下手なんだから、仕方がないだろう』だってさ。おまけに何の予告もなく、いきなり痛い足を折り曲げてみたりしてさ。ロボットだからって、ちょっと思いやりがなさすぎると思わない？ あっ、痛い！」

キャラが転倒する。

3 タイトル【思いやりのある日本語】

2 患者と看護婦のコミュニケーション

4 整形外科病棟

康文（小学校高学年）がギプスの足を足置き台に乗せて寝ている。
看護婦が入ってくる。

看護婦「康文さん、お加減いかがですかあ。まだ、痛むかしら？」

康文「少し痛い。昨夜はうんと痛くて、目を覚ましちゃった」

看護婦「困ったわねえ、もうそろそろ痛みがとれる頃だと思ってるんだけど・・・

先生にも話しておくから、もう少し我慢できるかな？どんな痛みだったの？」

康文「ズキン、ズキンとした感じ」

看護婦「痛いと思うと、よけい痛くなるから、例えば野球のことだとか、サッカー
のことだとか考えて、気を紛らすといいみたいよ。私も経験があるの」

康文「看護婦さんも、骨折したことあるの？」

看護婦「私は盲腸の手術をしたの。麻酔が覚めたら痛くてね」

康文「何で気を紛らせたの？」

看護婦「ウッフ・・・何だと思う？（考える康文に小声で）美味しいケーキのことだ
とか食べること」

康文「（すっかり楽しくなって）いいなー、ぼくはやっぱ野球のことだな」

看護婦「強打者なんだって？お見舞いに来たお友だちが言ってたじゃない」

康文「うん、アーア試合に出たいなー、いつ頃治るかなあ」

看護婦「早く治るといいわね。こんど先生に聞いてごらんなさい。若いから治りは
うんと早いと思うけど」

康文「どうもありがとう、頑張るからね、ぼく」

5 キャラ登場

キャラ「康文君、なんだか元気が出たみたいだね。看護婦さんのどんところが、
康文君を元気づけたのかな。この看護婦さんみたいに優しくしてくれたら、
ぼくの足だってとっくに良くなっているんじゃないかなんて考えちゃうな」

6 学校の廊下(朝の通学時)

康文が少し足をひいて歩いてゆく。

実「康文、久しぶりだな。自転車で転んで骨折だって？ 何で転んだんだよ」

康文「車を避けようと思って・・・」

実「カッコつけすぎるからだよ、お前は！」

表情を曇らせる康文。

佳織、後ろから来て不意に・・・。

佳織「そんな言いかたないでしょ、誰だって転びたくて転んだんじゃないわよ、
ねえ。早く治って良かったわね」

バツの悪そうな実。

俊成「おう、康文、もう痛まないか？」

康文「うん、ありがとう、お医者さんがもう大丈夫だって」

俊成「強打者が退院してきてくれて良かったよ。試合が続いてるから、みんな待
ってたんだぞ」

7 キャラ登場

キャラ「君たちが康文君に会ったら、どんな話し方、接し方をするかな？ さあこんな場合はどうかな？」

8 学校の教室

給食が終わって、生徒ら各自が食器を片づけはじめている。

智絵が過って食器を落とす。食器の一部が破損する。

しまったという表情の智絵、オロオロする。

男生徒3「あーあ、割れちゃってる、そそっかしいんだよな」

男生徒4「先生に叱られるぞー」

生徒らが集まってくる。

女生徒4「不注意だからよ」

男生徒4「早く遊ぼうなんて考えてるからさ」

いまにも泣き出しそうな智絵。

祐理恵が箒などもって寄ってくる。

祐理恵「みんな騒ぐの止めなさいよ、ちょっと不注意だとは思うけど、割れちゃったもの仕様がでないじゃないの。(智絵に) 大丈夫、怪我しなかった？ さ、一緒に片づけよう。こんどから気をつければいいんだから、先生だって叱らないわよ、誰だって失敗はあるもの、ね」

智絵「(小さく頷いて、小声で) ありがとう、祐理恵、大丈夫、わたし片づけるから」

祐理恵「ほら、黙って見ていないで、みんなも手伝って！」

祐理恵にうながされて、みんな手伝う。

9 キャラ登場

キャラ「(自分の足をさすりながら)ほんと、誰だって失敗はあるよね。君たちが同じ立場だったら、どんな 感じになる。祐理恵ちゃんみたいな友だちがいたらホッとするね。どんな言葉をどんなふうにかけてたら良いのかな。みんなも思いやりのある言葉って何か、考えてみようよ」

手を振って奥に消えるキャラ。おや、足が治っちゃってる。

キャラ 「あれっ、走れちゃった！」

素材② 元気のいい日本語

1 プロローグ

10 祭礼の町(資料映像)

威勢のいい掛け声とともに、祭神輿が町を練る。

担ぎ手「(みんな声を揃えて) ワッショイ、ワッショイ、ワッショイ・・・」

合成画面で、御輿の横にキャラ登場、わくわくと体を動かしながら。

キャラ「威勢がいいね、何だか聞いているだけで、自然に からだが動きだしちゃうよね」

11 消防訓練

消防車が到着する。

消防団長の号令。

消防団長「消火活動開始！」

逃げ遅れた人を救助するために、火に包まれた建物に突入する団員達(訓練)

放水に備える団員達

12 キャラクター（以下、キャラと略）登場

ロボットの「ことば君」が現れる。

キャラ「(消防士の真似をして)『放水始め!』。うーん、ハキハキしていて、気持ち
がひきしまるね」

13 タイトル【元気のいい日本語】

2 元気のいい情景

14 キャラ登場

キャラが視聴者に問いかける。

キャラ「どんな言葉や話し方を、みんな元気がいいと感じたりするんだろう？」

お腹のキー・ボードを叩くと、キャラの腹の窓に、次の運動部の
映像が現れる。

キャラ「うーん、なるほど、こんな情景もそうだね」

その画面が大きくなって、キャラは消える。

15 学校の体育館

チアガールの一団が、そろって練習している。

一団 「(声をそろえて) ワン! ツー! スリー! …… (以下、繰り返し)」

16 野球場

少年野球。試合前の円陣が、掛け声で守備に散ってゆく。

チーム全員 「ウォーッ、頑張ろう、勝つぞっ!」

もう一方のチームも円陣で。

チーム全員 「ウォーッ、張り切っていこう!」

試合が始まっている。ピッチャーが投げる。

双方のベンチから、声を合わせて声援がとぶ。

守備側 「ナイスボール、調子いいぞっ!」

攻撃側 「こわくない、こわくない (あるいは、「大丈夫、大丈夫」) もう一本いこうぞ!」

バッター三振する。

攻撃側 「気にしない、気にしない、この次いこう!」

17 キャラ登場

キャラ 「うーん、みんな力を合わせて元気がいいね。君たちはあまり目にしたことないだろうけど、魚市場も威勢がいいんだ」

3 威勢のいい売り声

18 魚市場

マグロが並び、大声で競りが行われている。

セリ手 「はいっ、1番幾ら、1番いくら！」

買い手が指を立てて金額を合図する。

セリ手 「はいっ、ニンロク(26) ニンロク、ニッパチ、ニッパチ、はいっ！ サンマル、サンマル、はい、魚勝さん！（と、競り落とした買い手を指さす）」

魚河岸にキャラが登場（合成画面）。

キャラ 「うーん、何を言っているか分からないけど、威勢はいいね。セリ手のおじさんに訊いてみよう」

セリ手 「1番というのは、そこに置いてあるマグロの番号だ。ニンロクはキロ当たり二千六百円のこと。ニッパチは二千八百円、サンマルは三千円のこと。・・・何しろ魚だからね、生きが良くなっちゃいけない。腐った魚を売ってるんじゃないんだから、威勢がよくなっちゃいけない」

19 町の商店街（魚屋とお寿司屋）

魚屋の店主が大声で客を呼んでいる。

魚屋店主 「獲れたてだよ、獲れたて！ 生きがいいよっ！」

買い物の主婦に、店頭の魚を指して。

魚屋店主 「安いよ、安いよ、さあ、買わなきゃ損だよっ！（と、手をひとつ叩く）」

お寿司屋にお客さんが入ってくる

寿司屋店主 「いらっしゃい！どうぞこちらへ！」

寿司屋店主 「生きのいいネタ入ってますぜ！」

手慣れた手つきで

寿司屋店主 「はい！お待ち！（握りを出す）」

店頭にキャラ登場（合成画面）。

キャラ 「魚市場と同じだね。生きの良さを売るんだから、活気がなくてはいけないんだ」

以下、キャラが眩くように売ってみせる。

客足は寄りつかない。

キャラ 「『獲れたて、獲れたてだよ。ね、生きがいいよ』。ね、なんだか古い魚を売

ってるように聞こえない?」

4 威勢のいい作業の指令

20 キャラ登場

キャラ「威勢がよくて、気持ちがひきしまる言葉は、こんなところでも使われているよ。(と、お腹のキーボードを操作して) これも見ようか」

21 海洋訓練(例・海上保安庁海上保安学校＝舞鶴市)

乗艇前の点呼が行われている。

指揮者「あご紐かけ!」

隊員「(復唱) あご紐かけ!!」(以下、すべての作業に隊員の復唱があるが略)。

指揮者「乗艇!」

迅速に14人のクルーと指揮者らが乗り込む。

指揮者「かい用意!」(クルーが復唱してオールを水平に持つ)

指揮者「用意!」

クルー「用意!」

指揮者「前へ!」

クルー「前へ!」

ボートが滑り出すと同時に、クルー全員が一斉に声を出しあって漕いでゆく。

クルー「イーチ、ニ、イーチ、ニ（1、2）・・・」

現場に、キャラ登場。沖に向かうのを見ながら（合成画面）。

キャラ「みんな力がこもっているね。しかも、作業の指令はみんな短い言葉なんだね。どうしてだろう？その短い言葉をみんな理解して、実にきびきびと動いてるよね」

指揮者「人を助けたり、緊急の出来事に取り組む場合は、言葉は短いほど時間の節約になるし、さあ行くぞっ！ という威勢が出るでしょう。指令を出す言葉が短いのはそのためです。広い場所や騒然とした場所では、指令の言葉が聞き取りにくいことがありますね。みんなで復唱すれば、作業に間違いはないし、みんなで揃って大きな声を出すと、力がこもりますからね」

5 エピローグ

22 キャラ登場

キャラ「なるほど、いろいろな場面で、いろいろな元気のいい言葉があるんだね。みんなも、活気のある言葉、威勢のいい言葉を考えてみないか。さあ、レッツ・ゴー！」

素材③ 表情豊かな日本語

1 オープニング

23 小タイトル『表情豊かな日本語』

バックに、寄席の出囃子が流れる。

24 落語の高座

落語家の入船亭扇治が、短い噺を一席ぶつ。

扇治 「エ～、人にはそれぞれ嫌いなもの、その言葉を聞いただけでも震えるほどいやなものがありますが…『おれは、蛇とかウナギとか、細くて長いものが嫌いだな』『おらア、カエルが怖い』『カエル？ カエルなんぞ怖えか？』『怖いよー、あいつ、ぱくッと口をあくだろ？ぱくッと口をあくものはなんでもいけねえ。だから、おらア、がま口も嫌だね』『だらしがねえなア…おい、その次はどうだい？』『蟻』『蟻？ ずいぶん細けえものが怖えんだな…善さん、おめえは何が怖え？』『おめえたち笑うから、おらア言わないよ』『笑わないよ…（一同を見回して）な？ みんな』『本当に笑わねえかい？ え？ じゃあ言うけども…実は、おらア、饅頭が怖えんだ』『…？ 饅頭？ あ、中にあんこが入ってて、食う饅頭かい？ まさか、あの饅頭が怖えわけはねえだろ？』『怖えもんは怖えんだよ…ああ、話してるだけで、なんだか心持が悪くなってきた…おらア、ちょっと横になるよ…』と言って、善さん、となりの部屋で寝てしまいました。『聞いたか、おい、善の野郎、饅頭が怖いだとよ』『どうでえ？ みんなで饅頭を買ってきて、野郎の枕元にずらりとならべようじゃねえか』『そりゃ、おもしろそうだな、やろう、やろう』ってんで、みんなでたくさん饅頭を買ってきて、善さんの寝ている枕元に置いておきました

た。『う～、よく眠っちまったなあ… でも、なんだか、まだ寒気がするぞ…
(置かれた饅頭を見つけ大げさに) うっ、うっ、う～、饅頭ウ… タ、タ、助け
てくれー (と、饅頭を食べ始める)』『ヒヒヒ、随分怖がってやがるぜ (となり
の部屋をのぞいてみて) オオッ、ナンダ、ナンダ、 善の野郎、饅頭食ってる
ぞ』『う～、栗饅頭、怖い、怖い、そば饅頭も怖いなあ…うはは』『(襖を開け
て) おい、この野郎、だましやがったな、一体、おめえは何が怖えんだ?』『え
へへ、ここいらで、お茶が怖いや』おあとがよろしいようで…」

25 アニメ

案内役のキャラクターが登場。

キャラ「今の嘶には、たくさんの登場人物が出てきたけど、落語家さんてスゴイよ
ね。どうして、ひとりで何人も演じられるのかな？」

26 落語の高座

扇治がカメラ目線で答え、簡単な二人の人物の演じ分けを見せる。

扇治 「それはですね。こんな具合に演じ分けるんですよ。『こんちは～ ご隠居
いますか～?』『お、なんだい、熊さんじゃないか、どうした? お入りよ』『え
え、実は、ちょっと弱ったことがありやして …』」

27 アニメ

落語家の嘶を聞いて納得したキャラ。

キャラ「わかった! 人物によって、口調や表情、身ぶりや手ぶりなどを使い分ける

んだね!ところで、同じ言葉でも口調や表情によって、伝わる意味が違って
くることがあるよね?また、ちょっと、落語家さんにやってもらおうか…」

2 パラ言語 (口調・表情) が伝える意思・意図

28 落語の高座 (※一部、画面角にアニメを合成)

パラ言語を実演する扇治。

扇治 「ようがすよ!それでは、『そうですか』という言葉で、やってみましょう。ま
ず、『(感心の口調で) そうですか』…どんな気持ちが伝わりますか?」

子どもたちに考えさせる間が少しあり、画面角にキャラが映る。

キャラ 「『ああ、なるほど!』という感心した気持ちが伝わってくるね」

扇治 「でも、『(無関心の口調で) そうですか』と言うと、どうでしょ?」

また、子どもたちに考えさせる間が少しあり、画面角にキャラが
映る。

キャラ 「ぜんぜん興味がないみたい」

扇治 「では、『(疑いの口調で) そうですか』と言うと、どうです?」

また、子どもたちに考えさせる間が少しあり、画面角にキャラが
映る。

キャラ 「なんだか疑ってる感じがするね」

扇治 「次に、『(落胆の口調で) そうですか』は、どんな感じがしますか？」

また、子どもたちに考えさせる間が少しあり、画面角にキャラが映る。

キャラ 「あ～あ、がっかり…」

扇治 「おしまい、『(中立の口調で) そうですか』と言うと、どうでしょう？」

また、子どもたちに考えさせる間が少しあり、画面角にキャラが映る。

キャラ 「あれれ？ 何の気持ちも伝わってこないぞ」

29 アニメ画面が大きくなる。

扇治の話芸に感心するキャラ。

キャラ 「う～ん、同じ『そうですか』でも、口調や表情で全然意味が違ってくるんだね。それにしても、やっぱり落語家さんは上手だね。さて、他にも話し言葉の達人が、みんなのすぐ近くにいるんだけど、わかるかな？」

3 表情豊かな日本語の達人

30 アニメの録音スタジオ

キャラの声を出している声優が登場。

声優 「(声優の素の声で) こんにちは! みんな、わかったかな? キャラクター
の声を出している〇〇です」

キャラのアニメ画面と、吹き替えをする声優の姿を2分割で映し
出す。

声優 「(キャラの声で) 自分で《達人》なんて呼んで 恥ずかしいけど、アニメの声
優も、聞く人が楽しくわかりやすく感じるよう、いろいろと声の 調子を変え
ているんだよ」

アニメ画面の中で、突如、雨が降り出す。

声優 「(キャラの声で) ヒャー、雨が降ってきたゾ。ヒャー」

31 アニメ

雨の中を叫びながら、駆け出すキャラ。

声優の姿が消え、アニメ画面のみになる。

やがて、雨宿りのため、キャラは軒下に入る。

キャラ 「おかしい天気だなあ、ヨシッ、天気予報を聞いてみよう… (携帯電話で1
77の『気象情報』にかける)」

4 情報を正確に伝える話し方

32 携帯電話(実写)

『気象情報』のアナウンスが流れてくる。

電話(177)の声 「気象庁予報部発表の○月○日午後 ○時現在の気象情報をお伝えします。現在、東京地方に大雨雷注意報が出ています…(以下、しばらく『気象情報』を聞かせる)」

33 アニメ

『気象情報』を聞き終えたキャラ。

キャラ 「う～ん、…あらためて聞いてみると、気象情報の声って、大きくもなければ小さくもないし、強くもなければ弱くもない。情報を正確に伝えるために、このような話し方になるんだな。他に、同じような話し方はないかな？(お腹のキーボードをたたき、画面に映し出す)アッ、そうそう、これもそうだ…」

34 図書館の朗読室

視覚障害者を相手に、ボランティアが科学図書を朗読している。

ボランティア 「夏が過ぎると、北から寒冷前線が南下して 寒気をもたらし、太平洋高気圧との間に前線が停滞しやすくなります。これが、秋雨前線であり、梅雨前線の活動が西日本から中部日本で顕著であるのに対し、北日本や日本海側の地方で顕著になるという特徴があります」(※入門ビジュアルサイエンス『気象のしくみ』日本実業出版社より)

5 エンディング

35 アニメ

カメラに向かって話すキャラ。

キャラ「話し言葉は、文字では伝わらない気持ちを口調や表情で伝えることができるんだ。おしまい、ひとつ問題を出すね。『何やってるの』という言葉も、伝えようとする気持ちによって声の調子が変わってくるよ。三通りの言い方をするから聞いてみて！それぞれどんな気持ちか、わかるかな？『(質問する感じで) 何やってるの？』『(叱責する感じで) 何やってるの！』『(からかう感じで) 何やってるの』…さあ、みんな、考えてみてよ！」

素材④ 想像がふくらむ日本語

1 プロローグ 詩作品・A

36 詩の情景 まど・みちお「あめ」

ある雨の風景。その中央に、こに和紙ふうの薄い色の色紙にのせた詩のスーパーがあらわれる。余白部分は、雨の風景の周辺はかしになる。

朗読の声 『あめが ふる／あめが ふる／あめが ふる／
そらが おおきな かお あらう
あめが やんだ／あめが やんだ／
あめが やんだ／そらが きれいな かお だした』
(まど・みちお「地球ばんざい」より「あめ」)

最後の「そらが きれいな かお だした」で、一瞬、画面が青一色にかわり、次の場面にうつる。

37 タイトル【想像がふくらむ日本語】

38 キャラ登場

キャラ「みんな、この詩から何を感じた？『あめがふる』という言葉を繰り返しているね。どんな雨なんだろう、沢山、降っているのかな？『そらが おおきな かお あらう』も面白いね。雨は空が顔を洗っている時なんだって。もう一度、いまの詩に耳を傾けてみようか」

胴体のキーボードを叩くと、同じ胸の部分の広がる。

39 先と同じ画面

朗読の声 『あめが ふる／あめが ふる／あめが ふる／
そらが おおきな かお あらう
あめが やんだ／あめが やんだ／
あめが やんだ／
そらが きれいな かお だした』

2 詩作品・B

40 キャラ登場

キャラ 「こんどの詩は、言葉のリズムが楽しめるよ」

同じようにキーボードで、画面を呼びだす。

41 詩の情景 谷川俊太郎・「かずかぞえ」

さまざまな数字が画面を飛びかう。その中央に、前と同じように、色紙にのせた詩のスーパーがあらわれる。余白部分は、周辺ほかに。

朗読の声 「いっぴきにひき ひきがえる／
さんにんよにん べんごにん／
ごほんろっぽん まいくろほん／
ななだいはちだい じどうしゃだい／

くだんじゅうだん はしごだん」

(谷川俊太郎「わらべうた・続」より「かずかぞえ」)

3 詩作品・C

42 キャラ登場

キャラ 「ほくたちがふだん使っている言葉でも、表現を工夫すると、躍るようなリズムが生まれるんだね。みんなも、詩を聞きながら想像をふくらませてみようよ」

前と同じキーボード操作で、画面があらわれる。

シャボン玉のファンタジックな映像に、前と同じ形式で詩が流れる。

朗読の声「ふわり うかんだ シャぼんだま／
ちいさな わたしが のっている／
ふわり ふわりと ふく たびに／
どれにも わたしが のっている／
いいな わたしよ ならんでけ／
ともだち みたいに ならんでけ／
やねも かざみも とびこえて／
くもまで さんぽに ならんでけ」

(まど・みちお「よむうた」より

「ふわり うかんだ シャぼんだま」)

キャラがシャボン玉の中に入って、手を振りながら空を飛んでゆく。

